

レジメン名

BOR+MEL

出典

アルケラン静注用インジェクション
造血細胞移植ガイドライン 移植前処置(第2版)

実施部署区分

☒入院
☐外来
☐処置

対象疾患

多発性骨髄腫

☐進行・再発
☐補助療法(術前・術後)
☒造血幹細胞移植前処置
☐

投与減量の基準

eGFR	eGFR<50mL/min/1.73m ² (HD含む) アルケランを50%減量
その他	

1クール期間

11日

総クール数

1

(次のクールまでの標準期間)

投与中止の基準

その他			

薬剤名・略号	1日投与量	投与方法	投与速度 (時間)	投与日(d1、d8等)
メルファラン(アルケラン)	200mg/m ²	生食100mL (中心静脈)	15分※	d-2
※調製後、1.5時間以内に投与を終了すること。				
ボルテゾミブ	1.0mg/m ²	NS適量	皮下注射	d-6、d-3、1、4

1日投与順 (経時的にプレ Medikation・ポスト Medikation、 溶解液まで含む)
d-6、-3、1、4 ①ボルテゾミブ1.0mg/m ² +生食適量(皮下注射) d-2 ①アロキシ0.75mg/バッグ+デキサート9.9mg(15-30min) ②生食50mL(フラッシュ用) ③アルケラン200mg/m ² +生食100mL(15min) ④生食50mL(フラッシュ用) ※アルケラン投与前日から投与終了後24時間は、水分補給及び利尿剤の投与を行い十分な尿量を確保すること。補液量は2,000mL/日以上、確保すべき尿量は100mL/h以上を目安とする。 ※クライオセラピーを検討。 <内服> day-2～day0 ・アプレビタントカプセル(125-80-80) day-2は化学療法開始1時間前、day-1、0は朝食後 下記は主治医の判断で追加可能 day-2～day1 ・オランザピン(5)1T1X夕食後 (糖尿病は禁忌、高齢者は2.5mgへ減量を考慮するなど慎重に投与) day-1～day0 ・デカドロン8mg